

チャノホソガのフェロモントラップと有効積算温度を活用した発生予測法

チャノホソガの有効積算温度から求めた第一、二世代の羽化予測日は、発生時期の予測や防除時期の目安として活用可能

背景・目的

- ・てん茶栽培では、長期被覆により新芽生育期間が長くなり、チャノホソガの被害の多発化や顕在化が懸念
- ・チャノホソガを効果的に防除する必要性の高まり
- ・発育ステージ別の発育予測法を開発し、現地茶園における予測精度を検証

成果の内容

- ・発育パラメータ(表1)による第一世代及び第二世代の羽化予測日は、フェロモントラップによる雄成虫の同世代の50%誘殺日及び誘殺最盛日と概ね合致(図1)
- ・発育予測の起算日は、萌芽期以降の前世代の誘殺最盛日に設定(図2)

表1 チャノホソガの発育ステージ別
発育零点と有効積算温度

	発育零点 (°C)	有効積算温度 (日度)
卵期	9.5	43.8
幼虫期	6.3	200.0
蛹期	8.6	196.1

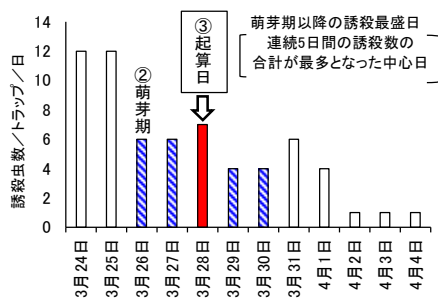


図2 一番茶萌芽前後の日誘殺数
(第一世代起算日の考え方)

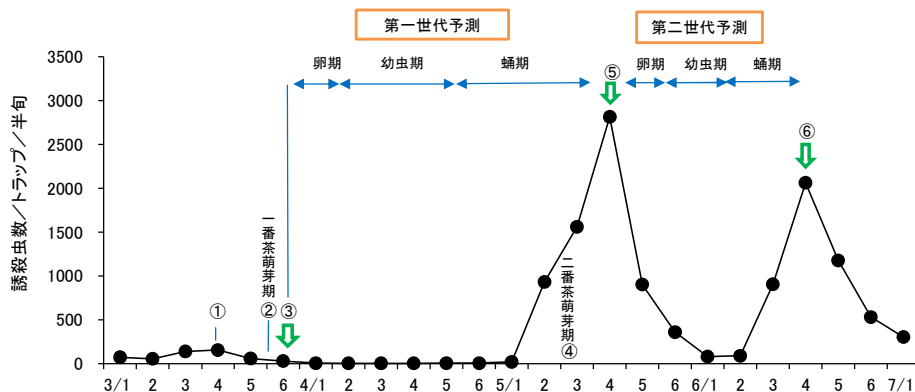


図1 チャノホソガの雄成虫のフェロモントラップにおける半旬毎の誘殺状況
(農業開発総合センター茶業部知覧ほ場: 2021年3~6月)

- ①越冬世代の誘殺最盛日: 3月19日
- ②やぶきたの一番茶萌芽期: 3月26日
- ③一番茶萌芽以降の越冬世代の誘殺最盛日: 3月28日(起算日)
- ④やぶきたの二番茶萌芽期: 5月10日頃
- ⑤第一世代の50%誘殺日及び誘殺最盛日: 5月17日(予測日: 5月16日)
- ⑥第二世代の59%誘殺日及び誘殺最盛日: 6月20日(予測日: 6月22日)

期待される効果

チャノホソガの成虫発生時期を予測することで適期防除が可能



○普及対象・範囲
県内茶生産者及び茶指導者

鹿児島県農業開発総合センター
生産環境部病理昆虫研究室

(農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究)